

第6回教育委員会開催

6月4日に第6回の教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

【第6回委員会】

《報告》

・第37回中国山地日野鶴の池マラソン大会の開催について
今年の鶴の池マラソン大会の参加予定人数、準備状況などについて報告がありました。

《議案》

平成26年度日野町一般会計補正予算書の提出について

・6月議会定例会に提出する補正予算について審議・承認されました。

《協議》

保育料軽減措置について

・今年度から実施する予定の保育料軽減措置案について説明し、了承されました。

《その他》

- ①平成26年度の学校計画訪問について報告がありました。
- ②平成26年度の講師等訪問について報告がありました。
- ③微小粒子状物質（PM2.5）への対応について確認が行われました。
- ④日野町職員採用試験（保育士）の募集案について報告がありました。

《次回の予定》

日時：7月4日（金）午前9時30分～

場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽におでかけください。

鳥取県社会教育連絡協議会表彰を受賞

長年にわたり、社会教育の振興に尽力

黒坂の百田利彦さんが、5月12日、倉吉市で開催された鳥取県社会教育委員連絡協議会総会において、鳥取県社会教育連絡協議会表彰を受賞されました。



▲受賞された百田さん

これは、百田さんの町公民館長・社会教育委員としての長年にわたる社会教育振興に貢献されてきた功績から表彰されたものです。おめでとうございます。

今月の子育ての知恵袋③

子育て

親が子育てをしたのか親が子どもに育てられたのか、気が付けば、その時期は終わり、孫の守りをしてみると、大変だったと同時に夢屋楽しみがありました。

子どもが親となった昨今、ありがたいという言葉に肩の荷が降りたような気がします。

何一つできなかつた子育てですが、元気に成長してくれたことに感謝しています。

育てたように子は育つ。そんな子育てでした。 (黒坂 50代 女)

日野町「子育ての知恵袋」より（平成24年3月 町教育委員会発行）

平成26年度事業計画などを決定

▼日野町人権・同和教育推進協議会 総会

4月25日、山村開発センターを会場に自治会長の方々が出席し、町人権・同和教育推進協議会の平成26年度総会を開きました。

はじめに、同協議会長の景山亨町長が「日本国内には差別を禁止する法律が無く、人権侵害を救済する法制度がない中で、さまざまな差別が横行しています。県内でも、町長の名をかたった前代未聞の差別投



多くの会員が出席（総会の様子）

書事件や本町でもあったトイシの差別落書き事件など差別が後を絶たない状況です。今年度の運動方針を決定し、みんなで助け合い、心に傷が残らないように、それぞれの部署で頑張りましょう」とあいさつ。議事を審議して決算、事業計画・予算の承認を行いました。

日野町人権・同和教育推進協議会広報紙

人権のまちひの 2014年6月

● 決算、事業計画・予算案を承認

主な内容は次のとおりです。

【25年度事業実績】

- ・町人権啓発および第38回人権・同和教育研究集会は11月14日開催、153人が参加
- ・小地域座談会は過去最多の39自治会で開催、353人が参加
- ・町民人権講座は4回開催、250人が参加
- ・鳥取県研究集会や全国大会などへの参加、広報紙「人権のまち”ひの”」の発行啓発活動など

【25年度決算】

- ・収入総額 400,521 円（町補助金 400,000 円ほか）
- ・支出総額 400,130 円（部会の研修費ほか 30,600 円、町人権・同和教育研究集会の開催、県研究集会や全国大会参加費 320,240 円、事務費その他 49,290 円）

【26年度推進目標】

『高齢化社会の人権尊重の地域づくりへの成果』を暮らしの中で個々につなぐ実践に
 (重点施策) ①人権・同和教育研究集会の開催 ②小地域座談会の開催および推進者の養成
 ③部会研修の充実 ④人権講座の開催

【26年度事業計画】

- ・町人権啓発講演会および第39回人権・同和教育研究集会（10月3日予定）
- ・小地域座談会の開催（全自治会）および推進者養成講座の開催（3回）
- ・町民人権講座の開催（4回）
- ・鳥取県研究集会ほか町外研修会などへの参加
- ・啓発紙『人権のまち”ひの”』の発行
- ・各部会研修の実施

【26年度予算】

- ・収入総額 400,400 円（町補助金ほか）
- ・支出総額 400,400 円
 総会役員会費 3,000 円（総会・役員会資料）
 部会費 64,000 円（各部会研修講師謝金）
 啓発研修費 282,000 円
 （町研究集会講師謝金、各種研修会参加費ほか）
 事務費ほか 51,400 円
 （県人権教育推進協議会負担金、通信運搬費ほか）

第1回町民人権講座 開催『外国人の人権～地域における多文化共生社会をめざして～』

総会后、鳥取県人権文化センター専任研究員の太田和宏さんを講師に招き、講演を行いました。

「人権が尊重される社会」を実現するために地域で暮らす私たちが、違う価値観や習慣の中で暮らす外国人と共にどのように暮らしたらよいか……。

ルーツや鳥取県に暮らす外国人の数の推移や国籍の現状および問題となっている事柄について課題を挙げ、詳しく説明しました。

講演の最後には、国際社会のグローバル化により日本に在住する外国人は増加する中で、「異なるものとの共生には摩擦がつきもので、物事を変えるには労力がかかる。私たちは対等な立場で議論・協力することで、誰もが大切にされ、自分らしく生きる社会が来る」と提言しました。



▲ パワーポイントを用い、分かりやすい説明をする太田講師（中央）